

## 出題意図

1

「哲学の効用」について論じた文章から出題しました。論旨を正確に理解する読解力、問われている点を正確に把握する論理的な思考力、そして理解した内容を簡潔に説明する表現力を問う問題です。

問1 人が心を病むという「精神のありよう」について、筆者がどのように考えているのか、論旨を正確に捉えて、簡潔に説明することが問われています。

問2 筆者が「哲学の効用」と呼ぶ、哲学の問い合わせ仕掛けの「嘘」の効果について、筆者がどのように結論づけているのか、論旨を正確に捉えて、簡潔に説明することが問われています。

2

特定の言葉の使用が、表現力や考える力、また感情を共有する力といかに密接にかかわっているかについて論じた文章から出題しました。筆者の具体例や比喩的表現などを論旨に結びつけて考える読解力と、筆者の主張を正確に把握し、それを批判的に理解しつつ論理的、説得的に論述する表現力を問いました。

問1 比喩的な表現を的確に理解し、論旨の流れと接続して具体的に説明できる点を重視しています。

問2 「やばい」という言葉を多用することがなぜいけないのかについて、筆者の主張の根拠となる論点を端的に要約できることがまず重要です。次に、その理由を自分なりの別の視点から捉え直し、論理的、説得的に反論することのできる能力を問っています。